

---

# 笑顔

星雲

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

笑顔

### 【コード】

N5033G

### 【作者名】

星雲

### 【あらすじ】

獄寺君の笑顔を見たくて頑張る山本のお話です。

好き(前書き)

山嶽です。

## 好き

獄寺の笑顔は好きだ…。

ツナにたいして無邪気に笑う時、俺にたいしてホントにたまに悪っぽく笑う時、小僧にたいして顔を引き攣らせて笑う時どれもこれも大好きで見ててあきねえ……

でも、でもさ…たまには俺にだってツナの時見たいに無邪気に満面の笑顔を見せてほしい…

一回でいいからさあ…  
なあ？獄寺…

## 笑顔

キーンコーン…

3時間目の予鈴がなったにもかかわらず獄寺は休み時間に教室を出ていったきり帰ってこない  
皆はいつものサボりだろうと気にもとめないけど…

先生がプリントを印刷しわすれたとかで1、2分前に教室を出ていった…

チャンス…

「わりいツナっ！気持ち悪くなってきたから保健室行くわっ！先生に言っというて！」

「分かったよ…でも大丈夫？一緒に行こうか？」

本気で心配してくれるツナに仮病を使った俺は罪悪感が生まれる…

「大丈夫だぜ？少し休めばすぐよくなっからさ！」

「そか、ゆつくり休んでね？最近、部活忙しいって聞いてたから疲れただよ…」

「そおかもな…サンキューなツナっ」

そお言っつて教室をあとにした

獄寺がサボりそうな場所…校舎裏、屋上、保健室…今日は雨だから保健室だろ…

俺は小走りで保健室に向かった

ガラガラ…

「おーい獄寺あ？居る？」

「ああ！？野球馬鹿？んだよ、せつかくシャマルがいなくて一人でのんびりしてたのによお」

獄寺は俺を見たたんあからさまに嫌な顔をしてそんな毒舌をはいてる…

「つか、十代目は…？まさかてめえ！十代目を一人置いてきたってゆーんじゃねえだろうなっ！」

はい置いてきました…しかも仮病使って…

「まあまあいいじゃん…クラスの奴らいるし、急に襲われたりしねえよ…」

「んなの分かんねえだろうがっ！もし十代目の身になにかあったらっ」

獄寺は焦ったように椅子から立ち上がってドアに走った…

が、逃がさねえのなあ…

ガシッ

獄寺の腕を掴んで俺のもとに引き寄せた…

「おわっ！なんだよ！てめえは果たすぞっ！！」

なんて言っつてめっっちゃ睨み付けてくる…

今獄寺に教室行かれたら色々とまずい…先生や心配してくれたツナに仮病つてばれちゃうし…俺が教室出てきた意味がねえ…

今日は獄寺の『笑顔』を見るまでぜってえこの手…まあ腕はなさねえ覚悟だ！

## 好き（後書き）

久しぶりに小説書きました…やっぱり駄文です。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5033g/>

---

笑顔

2010年10月8日11時24分発行